

ほっとらいん

いっすい

Issui



参議院議員 三浦 一水  
支部会報 第8号 (2005新春版)

発行人 / 自由民主党熊本県参議院選挙区第三支部  
支部長 参議院議員 三浦一水  
発行日 / 平成 17 年 1 月 15 日  
熊本事務所 / 〒862-0951 熊本県熊本市上水前寺2-10-6  
TEL(096)382-3737 FAX(096)382-4300  
議員会館 / 〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-1-1  
TEL(03)3508-8721 FAX(03)5512-2721  
ホームページアドレス <http://www.miuraisui.com>  
Eメールアドレス [issui\\_miura@sangin.go.jp](mailto:issui_miura@sangin.go.jp)

ご挨拶

新年明けましておめでとございませす。幾多の災害がたて続いた昨年二〇〇四年でしたが、それを乗り越えてめでたく新年を迎えられました皆様、心からお喜びを申し上げます。

皆様方のお支えで、私も今年には国会議員として十年目の節目を迎えました。これを機に、一層郷土熊本と国家のためにがんばることをお誓いを申し上げます。

改革という旗じるしのもと、さまざまな議論と取り組みが始まりました。三位一体、郵政、あるいは特区構想を含む規制改革。自分自身国会の議論の中で、それらのものに関わっていく中に、改革自体の重要性は認めながらも、やみくもな規制緩和などは大型店舗法にみるように、地方発展の足かせにもなることも多いということなどに、十分な注意を払ってまいりました。昨年の補助金と地方交付税の削減論に見られたように、本当に国と地方の両方の視点で全般にわたる気配りと目配りをし、政治の最大の役割であります国民生活の安寧を守りながら改革をはかっていくという役目を政治が果たさなければなりません。急激な改革あるいは独断先行的な手法は、本来の改革を破壊へと結び、独裁へもつなげてしまいかねない危険性ははらみます。

熊本の立場においてもまたそうであろうと強く感じております。それらの状況をしっかりと把握し、大地に足を踏ん張り、あくまで現場と国民県民の視点にたつて、三浦一水は今年一年また政治活動にあたってまいります。

年頭にあたり、ご支援いただきます各位の心からのご多幸とご健勝をお祈り申し上げます一言念頭のご挨拶にかえさせていただきます。

参議院議員 三浦 一水



質問者：三浦一水

11月30日 理事を務める参議院外交防衛委員会において、対中ODA、靖国参拝問題などの日中関係、自衛隊員4万人削減案とも関連する新防衛基本計画などについて、町村外務大臣、大野防衛庁長官などに質問。  
< 第34委員会室 >

参議院外交防衛委員会は、伝統的に国会両院で唯一、質問者と答弁者が座ったまま質疑を行う。

新春対談

新山鹿市誕生の前夜に、県・市政において重要な役割を果たされる河村修市長、池田秀男県議共々に、新山鹿市スタートについて、その課題と抱負を前熊本県農政部長和田秀雄さんにお尋ねした。

対談者

池田秀男 (熊本県議会議員)

河村 修 (山鹿市長)

和田秀雄 (前熊本県農政部長)

三浦一水 (コーディネーター)

# 対談 の力 氏に聞く



## はじめに

(三浦) まず和田さんにお尋ねします。和田さんは、今年3月の定年前に、昨年の12月に県の農政部長を辞されたと聞きます。あえて郷土山鹿市に、新たな情熱を向けかえるご決意の動機を伺いたいですか。

(和田) 私は山鹿の大宮通りで、和田食堂の八番目の子として生まれました。新しい挑戦について考えた時、様々な思いが交錯し、布団の中で涙があふれて止まらなくなりました。

これまでの経験は自分の郷土に情熱を燃やす為のものだったと改めて思い、すべてを生まれ育った新山鹿市にかけていきたいと決意しました。

## 地方分権・主体的な山鹿

(河村)。和田さんは、今日まで、熊本県政の中核で、企画開発部次長、あるいは東京事務所長、また農政部長と、要職を務められました。人口6万人の新市建設計画の事業については、積極果敢に進めなければなりません。しかし、厳しい財政の中では、国・県のサポートや連携が重要です。国会議員、国の機関、県議をはじめ、県庁時代に培った豊富な人脈、そういったものを最大限新山鹿市のために活かして欲しいですね。

(和田) 国の動向および県においての財政再建という状況は踏まえつつ、地方分権の中で山鹿の主体的な活動というものを、最大限度を実現していかねばならないと思います。

(三浦) 三位一体の方向性は今後さらに強まります。税源の移譲に始まり、地方自治体で裁量していかねばならない部分が相当増えてくると思います。そうなる、都道府県知事にしても、市町村長にしても、権限にあわせて責任もまた更に増します。この点は地方自治に携わられてきた立場から、どのような考えをお持ちですか。

(和田) 当然、地方分権の流れの中で、首長の責任は非常に大きくなるし、やはり地方行政自らがリードしていかなければなりません。職員も市民の生活向上のためには、今以上の努力、勉強をして、市民との対話の中から、自らの改革をしていく必要があるのではないかと思います。議会も市民の声を聞きながら、行政と議会がお互いに切磋琢磨することによって、全体の力が引き上がっていくことを求めている、まさに真剣勝負です。

(三浦) 私も市民として期待したいのは、議会が厳しく行政を攻め、また行政もそれに応えていく力を今後更に高めていくことです。地方行政力の向上は、我々が逆に国の場面において地方分権を推進していくための大きな論拠になっていくのだと思っています。

(和田) その通りで、国の信頼を得

るだけ、地方自治体が責任を持って自治行政を進める必要があります。

(河村) 三位一体の改革といえども、地方が百パーセント納得のいく財源移譲ができて、「国庫補助負担金制度」が全くなくなるわけではないと思います。その点、和田さんの考えはいかがですか。

(和田) 全くそういうことですね。国における各官庁があれだけ批判されながらも自分たちの権限を守り、地方公共団体は頼りにならないのだという姿勢で、やはり既得の権利は離さないという話になれば、まさに、きちんと国に対して取るものを取り、いかなければなりません。

## 新山鹿市の経済活性化

(池田) 新山鹿市の経済活性化というテーマの中で、農林業・地域振興について、企画開発あるいは農産物販売に大きく関わりをもってこられた和田さんにどのようなお考えかお尋ねをしたい。

(和田) 農業は国の基(もと)いだと考えます。新山鹿市にとっては地域経済のまさに回転役として大きな柱になります。地域農業がいかに地域にとつて、もしくは環境にとつて役割を果たしているかを大切に考えたい。その中で、農業者が十分に再生産への取り組みが出来、将来の展

# 新春 実行 和田秀雄



このように、客をつかみ、回遊させるための鍵（かぎ）は、やはり中心市街地の活性化です。

## 行政力・リーダーシップ

（池田）この合併を機にして皆、夢と希望を持つている。その中で、新市の市長には、実践力が望まれる。実務的に1市4町の合併を確かなものに舵取りをして頂く、将来のベース、基盤を作っていた。それが一番だと思つ。それに期待をしているのです。

（和田）私は新市の基礎作りというのは、市民の皆さんとの対話に始まり、議会との議論を尽くし、行政としてのあらゆる限りの力を市民の皆様へ提供していくのが一番大切なことと意識しています。

## 対談を終えて

これからの地方自治が、自主的な政策立案能力を高めることとしながら、現実と厳しい財政運営の中で、国・県のエネルギーに加えて民間等の、充分に活用できる外部の力も合わせて積極的に活用していく、という和田さんの姿勢が伝わった。

和田さんは、両刀が使える、「実行の力」を持った人である。地方行政自らが主体的に取り組む自立の力と、国・県の活力を有効に利用する力と、両方を実行する力としてお持ちであると感じた。

## コーディネーター

## エピソード

昨年、大分県で鳥インフルエンザが正式発表された時、当時の熊本県和田農政部長は、その二時間後には県対策本部を作り上げ、初動を終えた。それは現場の大分県より早い対応であった為、NHKの全国放送には、熊本県の対策本部が報道されるといふ出来事となった。危機にそなえての準備をおこたらず、住民の安全を守り抜く。和田氏の信念に基づく行動のすばやさ、そしてリーダーシップが、そこにあることを知るエピソードである。

望がはかれる体制を敷くのが、農政の基本であると考えます。それと、今後の農業を考えていく場合、農協と行政の連携や、大都市の量販店等との連携・パイプをつくっていくのが大事だと考えます。私も県東京事務所時代には多くの市場関係者・デパート等と繋がりを持ちましたが、行政と農業団体・農家の皆さんとスクラムを組みながら、対応をしていくことが重要です。

## 商工観光業の振興

### （福岡パワーの取り込み）

（池田）今後の商工業・観光の方向性について、お考えをお聞かせ願えますか。

（和田）商工観光を考える時に、新山鹿市は福岡県と隣接するという貴

重な利点を活かしたいと考えます。私は県の商工観光労働部次長時代、熊本県の福岡事務所の創設に取り組みました。福岡県は50万人を越える人口を持ち、これは鹿児島・宮崎・熊本を足した人口に匹敵します。福岡をいかに活用するか、これは観光レジャーのお客として農産物をいかに売るかをはじめ、新山鹿市の特産品の消費者として、商工業の振興の為に大きな可能性です。いかに福岡に向けて情報を発信するか、そこがまず突破口です。連携と活用を強化したいと思えます。

それから、新幹線の開通による流入客を、新山鹿市に回遊させる方法を真剣に考えたい。良質の温泉、八千代座・古墳群、新鮮な農林産物等、資源は実に豊かな新山鹿市です。



# 2004年(9月～12月) 【活動の軌跡】



台風 18 号来襲後、県下の農業被害を中心に 7 日間かけて視察。落葉果樹(梨・栗等)やデコボンの果実の落下した様子、干拓地の実が入らないもち米の穂が 60ha にもわたり茶褐色化した状況、メロンの全滅、いずれも悲惨な状況を目の当たりにし、心が痛みました。天災融資、復旧予算、共済による救済など、今回の台風被害対策に万全を尽くすことはもちろんですが、災害多発地とあきらめることなく、日頃から治山治水を治政の要として取り組み、国民県民の生命財産を守っていくことに飽くなき戦を続けなければと強く思いました。写真は、キャベツ畑(上)とビニールハウス(右)の被害状況の確認。

< 上益城地区 >



9 月 26 日 アテネ五輪で見事金メダルを獲得した、柔道男子 66kg 級の内柴正人選手の祝勝会に出席。対中 ODA の視察先の中国貴陽市のホテルのテレビ越しに応援した内柴選手の、金メダル獲得までの苦勞話・裏話などを拝聴し、「本当に金メダルがとれて良かった」との思いを新たにした祝勝会でした。

< 熊本市内ホテル会場 >



11 月 2 日 東京の大田市場にて行われた、県産みかん「豊福」の初せりに、県果実連理事として参加。台風被害も大きく、なんとか迎えた初せりでしたが、今後の出荷状況・価格推移など注意深く見守りたいと思います。

< 東京中央卸売市場大田市場 >



11 月 22 日 参議院災害対策委員会のメンバーとして、大規模噴火から約 4 年が経過した三宅島の復旧状況を視察。往復には防衛庁のヘリコプターを使用。

< 東京都三宅村 >



## 「三浦一水」政治活動ご支援のお願い

「三浦一水」の広範な政治活動を支える為、「政治資金」のご協力をお願い申し上げます。同封の振込み用紙をご活用頂ければ幸いです。

個人献金： 2,000円/一口

企業献金： 10,000円/一口

### 三浦一水熊本事務所

〒862-0951 熊本県熊本市上水前寺 2-10-6

TEL (096)382-3737 FAX (096)382-4300

E-mail: m.kumamoto@muc.biglobe.ne.jp



< 案内図 >